

2018年

臨時号

No.28

三豊市 みとよし 議会だより

議会報告会特集

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>

📷 とよなか 秋のまつり

私たちの意見は まちづくりにどう反映されるの？

① 議会報告会

市民の皆さまの意見を伺います。

② 各担当常任委員会で意見、回答を整理

③ 広聴会議で「市政に対する要請書」を作成

市の課題や緊急を要する案件等、いくつかの案件をピックアップします。

④ 議長から市長へ、「市政に対する要請書」提出

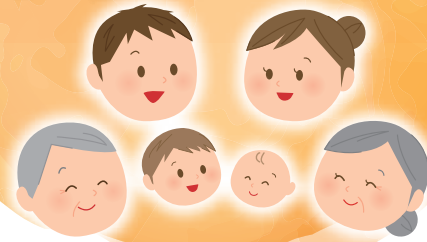
⑤ 市長から議長へ、「市政に対する要請書」回答

提出した案件に、今後、市としてどのように取り組んでいくか、どのように検討していくかが示されます。

要請書や、その回答については、随時、議会だよりに掲載し、皆さまにお知らせします。

議会報告会 開催報告

皆さまの声を まちづくりに！

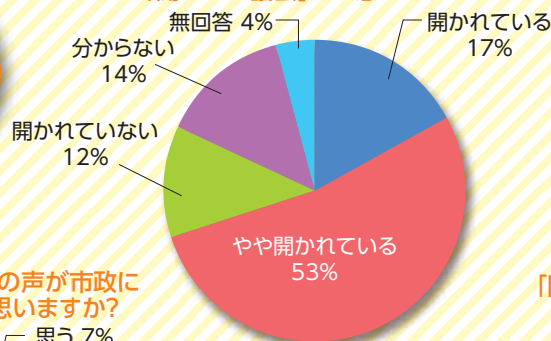


議会の活動を市民の皆さまに報告するとともに、市民の皆さまからのご意見を伺うことを目的に開催している「議会報告会」。今年も延べ421人の皆さまに、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。

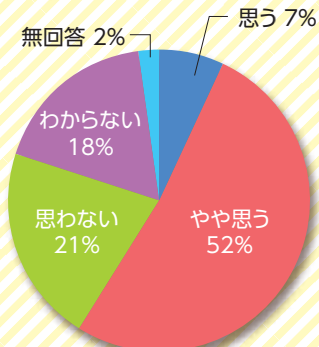
今回の臨時号は、「議会報告会特集」とし、議会報告会で皆さまからいただいた質疑と回答、また報告会当日に回答できなかった質問等の調査結果について、抜粋してお知らせいたします。いただいたご意見をよりよい三豊市づくりに役立てられるよう、これからも、議員一同、取り組んでまいります。

アンケートで 伺いました

「開かれた議会」だと思いますか？



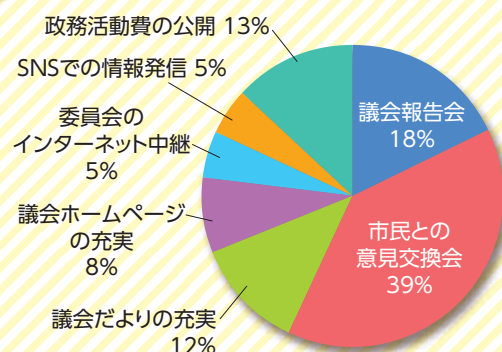
あなたの意見や市民の声が市政に 反映されていると思いますか？



平成30年度 議会報告会

- 開催日 5月14日～27日
- 会場数 26会場
- 来場者数 421人来場

「開かれた議会」を目指して何に 取り組むべきだと思いますか？



質疑応答

報告会では、3月定例会で審議した30年度予算を中心に議員から報告をし、参加者の皆さまからの質問やご意見を伺いました。

お寄せいただいた意見・要望について、担当の常任委員会で協議し、議会としての回答をまとめました。

ここでは、紙面の都合上、一部抜粋したもののみご紹介しております。全文は、ホームページでご確認いただけます。

回答の全文はこちら↓



総務常任委員会

コミュニティバスについて

問 運転免許証を返納すると移動手段が無くなる。コミュニティバスの運行を、土日、祝日運行など充実できないか。

答 高齢者の増加とともに、運転免許証返納者も増加すると考えられる。代替手段として、コミュニティバスの充実やタクシー券の活用など、市民の移動手段の確保をしなければならぬ。土日、祝日の運行に



▲市民の移動手段を担うコミュニティバス

については、費用対効果などの検証が必要と考えられる。



工業用水について

問 工業用水は、臨海部の工業団地だけでなく、全市的に対応する必要があるのではないかと。また、水量は不足しているのか。

答 現下の計画は、臨海工業地帯に立地する企業に三豊市の自力で給水しようとするもので、総事業費は約30億円とも言われている。議会としても、費用対効果のチェックなど、責任を果たさなければならぬと考えている。また、内陸部の工業団地など全市的な給水体制の整備も必要である。水量については、現在市内の有力地点を調査中である。

公共施設の使用料について

問 公共施設の使用料に関する方向付けはどうなったのか。

答 現在、具体的な検討は進んでいない。基本的な考え方は、収益を伴う使用や市外の方々の使用については従来通りの規定で使用料を徴収する方向である。市民の文化、芸術などの使用については、従来通りの運用を行っている。なお、同様の施設であっても使用料を徴収する規定が統一されていないため、使用料規定の統一化に向けて検討している。

瀬戸内国際芸術祭について

問 来年の芸術祭の取り組みはどうするのか。栗島だけに負担が集中するのではなく、全市的な観光振興策の一環として取り組んでいただきたい。

答 栗島が会場となっているだけに、どうしても栗島中心の取り組みとなっている。しかし、芸術祭を中心に、全市的に関わりをもった観光施策の立案・推進など、継続的な観光ニーズの創出も検討したい。



▲瀬戸内国際芸術祭 2016 栗島港周辺

讃岐造船跡地について

問 讃岐造船跡地の開発計画はどうなっているのか。

答 昨年春に「水族館を核としたに



▲讃岐造船跡地

「ざわい創造事業」の事業者を募集したところ、民間事業者からの参加表明がなく、事業執行は白紙になった。昨年の8月より、水族館事業に関心のあった民間事業者等に事業参加意欲等の聞き取りを行った結果、讃岐造船跡地だけでなく、詫間庁舎周辺地域まで広げた場合に、より効果的で、効率的な事業提案ができる可能性があるといった意見があった。

この聞き取り結果を踏まえ、今後はこの地域全体を通してのグランドデザインを描き、その中で讃岐造船跡地の活用方法を検討している。

※グランドデザイン：全体にわたる壮大な計画・構想

※合併特例債について

問 合併特例債の運用期限が5年間延伸されたが、どう運用するのか。

答 合併特例債の発行限度額は446億円であり、29年度末で約188億円の運用となる。運用期限は37年度（2025年度）までで、発行限度額の全額運用を予定している。

※合併特例債：平成の大合併による新市町村建設計画の事業費として充てることができる地方債。発行期限が再延長され20年間となった。

消防団について

問 消防団の再編によって消防車両や団員を減らすのか。

答 三豊市消防団再編計画の策定から5年が経過し、今年度は計画の見直しを行っている。

団員の勤務形態の変化などにより、昼間の出勤団員数の確保が大きな課題となっている。そのため、各方面隊ごとに、分団の再編などにより出勤団員数の確保に取り組んでいる。

消防団の再編は、消防車両や団員数を削減することが目的ではなく、あくまでも消防力の維持・強化が目的である。

空き家について

問 空き家が増加している。定住対

策に活用できないか。

答 市内に空き家は約2,000戸存在しており、そのうち、使える空き家に関しては、空き家バンク制度やリフォーム制度を利用し、移住者への呼び込みを積極的に行っている。空き家の提供だけでなく、移住・定住に関するさまざまなサポートを展開し、移住希望者から選ばれる地域となるよう取り組む。

人口減少や少子化対策について

問 人口減少や少子化に歯止めをかけるため、大学進学者のUターン施策や企業誘致などを強化する必要があるしはないか。

答 有効求人倍率は高止まりしているのに就職口が無いというミスマッチ現象が起きている。就職希望者への企業紹介や市内出身の大学生などへの情報提供も必要と考えている。

自主防災組織について

問 自助、共助の考え方は次第に普及してはいるものの、実際の災害時には期待通りに機能できるか不安が残る。自主防災組織の編成・強化が必要ではないか。

答 自助、共助の考え方の普及には引き続き取り組まなければならない。その上で、実効性のある訓練の実施などにより、防災力を強化しなければならぬ。また、自主防災組織については、組織率100%を達成すべく取り組まなければならない。防災機材の拡充や世代を超えた効果的な訓練への取り組みも必要である。



▲自主防災会の防災訓練

防災教育について

問 防災訓練や講演会について、危機感の希薄により参加者が少ない。防災教育についてどう考えているのか。

答 防災については、常に被害を最小に食い止めるための追求が必要である。防災訓練や講演会への参加については、より実効性の高い内容にするとともに、周知、開催方法などについても工夫することが必要である。

市民建設常任委員会

荒廃竹林対策について

問 関係者に周知していくとされているが、どのような内容なのか。タケノコを掘る農家も高齢化により減少している。

答 荒廃竹林対策事業は林野庁の事業である。

侵入竹の除去・荒廃竹林の伐採を目的としたメニューで、ha28万円の補助金や伐採機購入など機械購入の1/2の補助がある。今後、広報等で周知する。委員会でも早急に対策を検討して進めていく。

有害鳥獣対策について

問 ICTを活用した捕獲とはどういうものか、具体的に説明して欲しい。

答 檻や罠にセンサーを付けて、鳥獣が入ったら、携帯でリアルタイムに確認ができる。センサー檻は補助対象になる。

※ICT…情報通信技術

問 イノシシ等、有害鳥獣対策に市がもっと現場に入ってくれないか。

答 全国での鳥獣被害対策の成功例は3つのステップで取り組んでいる。

①環境管理（周辺の草刈り、放牧果

樹の伐採、残さを捨てない等）

②農地をきちんと囲う（正しい柵の設置、設置後の適切な維持管理）

③加害個体の捕獲

市は、柵や捕獲に対して、支援を行っている。

仁尾浜団地事業費の予算について

問 仁尾浜団地事業費3億6,000万円の予算だが、1戸の予算が4,600万円は高い。そのあたりは7戸の予算で正解なのか？

答 7戸は全体の戸数である。この事業は改良住宅としての事業で1戸の建設費は80㎡で約4,000万円である。この件については3月の予算特別委員会、市民建設常任委員会での議論があった。市民の税金が軽減できるように取り組んでいきたい。

空き家対策について

問 空き家対策について

答 老朽危険空き家除却支援事業は、所有者が申請をし、不良住宅として認定されれば、予算の範囲内で補助金が交付される。

住宅リフォームについて

問 住宅リフォームの制度と予算額はどのようなものなのか。

答 2割補助で最低事業費が30万円

最高事業費は100万円で、補助金は20万円が限度額となっている。

昨年の予算は2千万円で、募集枠は100件であった。

災害復旧について

問 三豊市も集中豪雨など雨量が多くなっている。水路に土砂が流れ込むなどして埋まったり、畦畔の崩壊も多くなっている。施設の見直しや補強の取り組みは議論が上がっているのか。

答 災害復旧の原則は、原形復旧になる。水路等への土砂流入の搬出は、要件に該当すれば市単独事業で対応可能である。

※畦畔…耕地間の境。あぜ。



▲豪雨による災害の様子

カーボンマネジメントについて

問 カーボンマネジメント事業とは。

答 ハード事業とソフト事業がある。国庫補助事業を活用し、省エネ設備に変えていく。三豊市役所など8施設が対象である。

耕作放棄地の再生について

問 昨年も質問したが、耕作放棄地をどうするのか。

答 中山間で5ha、それ以外は10ha以上で基盤整備できる。担い手への集積率等一定の条件により地元負担が軽減される。将来を見越した集積や経営体質について、団体で効率的な経営で行える事業を具体的に聞きし国・県とも協議しながら行っていきたい。

問 一ノ宮地区の長期の耕作放棄地が増えている。300軒くらいが茶を生産していたが、今は1割以下になっている。このままだと高瀬の茶は消えていくのではないか。

従前には戻せなくても、もっと良いお茶を作れるような制度を考えなくてはならないのでは。

答 作付け面積も大幅に減っており、新たにやってくれる人も少ない。議会としてどう取り組むか検討し、提案をさせていただきたい。



教育民生常任委員会

高齢者福祉タクシー事業について

問 高齢者福祉タクシー事業の再検討が行われているようだ。免許証を返納した場合、コミュニティバスの利便性が悪いので、将来不安だ。改善を望む。

答 福祉タクシーは運用面での改善を執行部に申し入れており、今年度の見直し状況を注視している。市民の皆さんのアンケート調査を参考に、利用しやすい効率的な運営管理を要望している。

放課後児童クラブについて

問 指導員を経験したが労働条件が良くない。またクラブによると、利用者が多すぎて施設面積等、十分な対応ができていない。改善をお願いしたい。

答 指導員の労働条件の改善は執行部に求めている。また予定を超える利用者で大変狭くなっているクラブもある。小学校内の教室などで実施できるように要望していく。

学校ICT化について

問 ICT化はどのように進めるのか。またICT機材はどの程度必要

なのか。

答 全小中学校に5年かけて配備する計画である。例えば小学校は4グループに分け、順次、電子黒板、タブレット等を配備する。全体で電子黒板は144台、生徒用タブレットは828台、授業用パソコンは284台等を整備予定である。先行導入した学校の導入結果の良い点・有効的活用方法などを他の学校につなげ、時間の無駄がなく、効率的活用となるよう配慮していく。



▲電子黒板を使った小学校英語授業の様子

幼稚園・保育所について

問 保育士を募集しているが、幼稚園・保育所に、臨時職員であることは疑問である。給与や福利厚生は低下するのか。給料面を含めた雇用条件をよくして、気持ちよく働ける

環境にしてほしい。

答 言われるとおりで給与は安い。正規職員の半分程度である。0歳〜2歳の子どもを預けたい方が増加しており、対応できる資格保持者を募集している。臨時職員の任用制度の改正と合わせて、処遇改善等について要望していく。



図書館について

問 図書館計画のパブリックコメントを実施したが、内容・資料に具体性がなく、方向性が見えないためコメントできなかった。もう少し考えてほしい。

答 28年度作成した「三豊市図書館再編基本構想」は図書館の基本的なあり方を示したもので、抽象的な内容となっていたが、29年度の「三豊市図書館基本計画」では、構想に基づいて図書館の現状と課題、今後の取り組みや推進体制について具体的に示した。今後パブリックコメント

を実施する際は、意見を出しやすい内容となるよう、執行部に要望していく。

※パブリックコメント：あらかじめ案を公表し、広く公に意見・情報・改善案を募集する手続き

子どもの貧困対策について

問 学習支援事業で、生活困窮世帯の対象者はどれくらいか。また支援の内容は。

答 平成17年に生活保護に至る前の困窮世帯の救済を目的とした「生活困窮者自立支援法」ができて、現在、中学3年生を対象に学習支援を行っている。対象世帯は78世帯である。勉強は自主形式を採用しているが、疑問点は教員OBや学生ボランティアに聞く形で進めている。毎週土曜日に豊中町農村環境改善センターで行っている。

永康病院について

問 病院の経営状態の見通しは。改善できるのか。

答 経営状況は一般会計繰入金を入れて、純利益は27年度は黒字、28年度は赤字である。耐震上、建て替えが必要になっている。6月に特別委員会を設置。病院の今後の在り方については、9月定例会までに執行部から提案される予定となっている。

議会運営委員会

事務事業評価について

問 議会が行う事務事業評価とはどのようなものか。また、継続、拡充、改善などの評価基準が分かりにくい。

答 執行部では、行政改革の一環として継続して取り組んでいたが、議会の立場から施策を評価することも必要として、29年度から実施している。継続、拡充などの評価基準については、施策の評価点数などにより、当該施策を今後どう扱うのかという方向付けを行ったものである。

政務活動費について

問 政務活動費は、なぜ必要か。また、どういうものを使用するのか。

答 合併により三豊市となり、取り組まなければならない施策も、より高度化している。このため、議員としても、広く情報収集を行い、先進事例の研修などを行うことにより、与えられた職責を果たさなければならぬ。政務活動費は、そのような取り組みを支援するため支給されている。なお、研修報告書の提出や領収書の添付が義務付けられている。

三豊市全体の報告会について

問 議会報告会は良い取り組みであるが、参加者が少ない。もっと効果的な周知方法や参加依頼などを工夫すべきではないか。また、三豊市全体を対象にした報告会なども検討しているかどうか。

答 ポスターやチラシ、防災行政無線、議会ホームページなどで周知するとともに、自治会長会でも議員が出席して周知・出席依頼をしている。今後は、もっと多様な方法での周知や周知時期の工夫などを行いたい。三豊市全体の報告会については、今後の検討課題としたい。

議会広報委員会

議会だよりについて

問 *A・I・C・Tなどの英語表記や、カーボンマネジメント・アウトソーシングなどの先進的な表記が議会だよりにも多く載せられている。

市民に読んでもらうのが目的の広報紙であれば、市民に分かりやすい言葉を使って欲しい。

答 英語表記や議会用語など、なじみのない言葉については、注釈をつ

け、身近な議会だよりになるよう努めたい。

※A・I・C・T：人工知能

※カーボンマネジメント：温室効果ガスの抑制や、削減に向けた取り組み

※アウトソーシング：外部委託

広聴について

問 ネット上の「目安箱」的なサイトが必要。

答 三豊市議会ホームページにも、右上に「ご意見・お問い合わせ」ボタンがあり、そこからご意見等を入力いただける。住所・氏名・メールアドレスの記入がなければ回答ができない場合があるので、ご注意ください。



議会報告会を終えて

本年の議会報告会も、400名を超える市民の皆さまのご参加をいただき終えることができました。旧小学校区26力所の会場に、お忙しいなか足をお運びいただいた方々、また、時間の都合がつかず参加がかなわなかった方々、これら全ての市民の皆さまの市政に対する、期待の表れであるとお礼申し上げます。

各会場では、これまでと同様に、熱心で多様なご意見やご要望等をいただきました。今後、議会としてこれらを担当委員会で調査研究し、市民の皆さまに報告させていただきます。さらに、市政に反映すべき事項は、政策提言してまいります。

今回いただいた議会報告会の実施方法に対するご意見等は、議会活性化に直結する具体的な取り組みであると認識しており、より多くの皆様にご参加いただけるよう改善してまいります。考えています。



議会報告会へのご意見・ご要望など

～ 議会報告会アンケートから抜粋してご紹介します ～

初めて参加しました。
1つ1つの質問に丁寧に答えていただき、議会を身近に感じることができました。
(60代)

もう少し報告内容を詳しくお願いします。
(70代)

主旨としては良いが、議会としてのまちづくり未来像を示して議論を展開してほしいです。
(60代)

(予算資料については)具体的な金額、明細、収支の実情を公開してほしい。インフラは仕方ないと思うが、全く無記では何の判断もできない。
(40代)

学区に細分化されない三豊市全体としての報告会および意見交換会。
(40代)

良い試みだが参加者が少なくもったいない。事前PR不足では。周知方法を模索してはどうか。
(40代)

休日の昼間、市役所周辺で地区に関係のない形の会を開いてほしい。
(40代)

市政との距離感が近くなり、とてもいい会だと思う。
(60代)



「活発な意見が出て大変有意義であった。」「市議会を身近に感じられた。」など、議会報告会がある程度定着してきたと感じております。

一方で、参加者は減少しており、周知方法・報告内容に課題を残しました。

もっともっと市議会に関心を持ってもらえるよう、市民に開かれた議会を目指

編集後記

し課題に挑戦してまいります。

臨時号では、報告会での質疑応答を委員会ごとに編集しておりますので、よろしくお願い致します。

(込山)



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

議員長 市川 洋介
副委員長 石井 勢三
委員 岩田 秀樹
込山 文吉
湯口 新
高木 武
近藤 修

議会広報委員会

三豊市のオススメスポット



● 今月の表紙 【写真提供：岩田 隆】
とよなか 秋のまつり

秋まつりの象徴ともいえるちょうさ。その絢爛豪華な16台のちょうさが、今年もゆめタウン三豊に集まります。力強く担ぎ上げられ、競い合うその雄姿、スケールに、圧巻の迫力風景が感じられます。10月7日(日)午後6時半から行われますので、ぜひ一度訪れて、その熱気を直接感じてみて下さい。(石井)